

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



祝 150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

1年間のまとめ

3月に入り、どの学年も1年間のまとめをする時期となりました。3月の生活目標は、「1年前の自分をこえよう!」です。子どもたちは、日々の学校生活を通して確実に、「1年前の自分」より心も体も頭も成長しています。学んだこと・身につけてきたことを学習場面や生活場面において、実際の行動で示すことで、1年間のよいまとめにしていもらいたいと考えています。



学年末参観日

2月28日(金)は、今年度最後の参観日でした。1時間目から6時間目まで学年ごとに時間を変えて授業を参観していただきました。1年生と2年生は、1年間の各教科で身につけたことを紹介する発表、3年生から5年生は、総合的な学習の成果を伝える発表、6年生は、体育のグループマット発表と各教室で最後の参観日を親子で楽しむ学習を行いました。どの学年も、遷喬小が力を入れている「表現し合う子」の姿を観ていただくことができました。保護者の皆様には、お忙しい中ご参観いただきありがとうございました。



1年生「できるようになったこと発表会」



2年生「できるようになったこと発表会」



3年生「つなげよう!久世のすてき2025」



4年生「未来の地球のためにできること」





5年生「多文化共生への道」

6年生「感謝と成長を伝える会」

次年度の教育課程と大規模改修について

各学年懇談で、次年度の教育課程と大規模改修についてお伝えしました。次年度から、遷喬小学校は、3年生以上で「学年担任制（チーム担任制）」と「40分授業」を実施していきます。また、令和7年夏休みより、大規模改修工事に入ります。

教育課程については、150年を節目に、新たな挑戦となります。国重要文化財に指定されており、当時としては先進的な建築様式の旧遷喬小学校、西日本初のオープンスクールの現遷喬小学校、総合的な学習の時間が正式にスタートする前から総合学習の先行実施と、常に「より喬きをめざし」挑戦し続けている遷喬小学校です。「学年担任制（チーム担任制）」と「40分授業」への新たな挑戦は、子どもたちの「学習意欲向上・教育の質の向上」が大きな目的です。

大規模改修では、学年ごとに約1ヶ月半のプレハブ教室での生活となります。ご不便をおかけしますが、子どもたちの「教育環境改善」のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

遷喬小の学年担任制

1年生	学級担任制 (小学校生活に慣れるために今まで通り)	支援学級 学級担任制
2年生	一部教科担任制（教科担任に慣れる）	
3年生	学年担任制	
4年生		
5年生		
6年生		

1期工事計画(予定)

令和7・8年度

R7 7～ 8月	プレハブ校舎建設(中庭)
9～ 11月	6年フロア 3年フロア 家庭科室・5年側OS
12～ R8 2月	1年フロア 2年フロア 特別支援教室
3～ 5月	4年フロア 5年フロア 3年側・4年側OS
6～ 8月	音楽室 多目的ホール 職員室

1単位時間の授業を 45分から40分に

メリット

- ・ 今より理解する時間と定着を図る時間を確保できる
- ・ 1時間の学習時間が短くなるので、児童がより集中して学習に取り組むことができる
- ・ 新1年生にとって45分授業よりも学校生活に慣れやすい
- ・ 学年担任制を進めるために必要な放課後時間が確保できる

デメリット

- ・ 今まで45分で授業していたことを40分で授業をすすめる教職員の経験がない



40分授業の試行を
3月中に実施予定

学習意欲の向上 教育の質の向上

主な改修箇所(予定)

- ① 床を絨毯からフローリングシートに張り替える
(絨毯は衛生面で課題があった。また、絨毯のため各教室で習字や図工が実施できなかった。)
- ② 教室にスライディングの戸をつける
- ③ ガス暖房を更新する
- ④ 窓ガラスをペアガラスにする
- ⑤ 電灯をLEDにする
- ⑥ 多目的ホールの旧パソコン室を壁でしきり新たな教室にする
- ⑦ 壁紙を修復する
- ⑧ 音楽室のエアコンを更新する

説明資料の一部